

# セミナーのご案内



## 現役記者によるお詫び会見・緊急会見の実践指導

～模擬記者会見で、ダメージを最小限にするポイントを学ぶ～

- ◆ フジサンケイグループの(株)エフシージー総合研究所(東京都江東区/社長: 小櫃眞佐己)は、企業・団体の広報担当者、総務担当者向けのスキルアップセミナー「現役記者による実践メディアトレーニング」を開催します。日時は、3月27日(金)の午前10時30分から午後5時まで。会場は、江東区青海の青海フロンティアビル2階会議室です。
- ◆ トラブル発生時の経営トップや役員などによる緊急会見の開催は、いまや常識になりつつあります。限られた時間で自社の対応方針を明確にし、信頼回復につながるメッセージを流す必要があります。日ごろの準備不足から、社内の意思統一などができずに事態を悪化させた企業・団体も散見されます。
- ◆ セミナーでは、あらかじめ用意されたシナリオに基づき、参加者に当事者として模擬記者会見に臨んでもらいます。記者役講師に対する状況説明と質疑応答などを通じて不祥事会見を失敗なく行うための話し方や態度、テクニックを学びます。記者役講師は、全員現役の新聞・テレビの記者で構成され、模擬記者会見後に参加者の講評を行います。
- ◆ 緊急記者会見やマスコミ対応についての基本レクチャーも行いますので、新任から中堅・ベテランまで幅広い層の広報担当者にご参加いただけます。講師は、産経新聞編集局副編集長の菊池昭光氏、同じく編集局社会部長兼科学部長の三笠博志氏、フジテレビジョン報道局解説委員兼危機管理総務の大林宏氏に加え、エフシージー総合研究所取締役情報調査部長の大倉明(元産経新聞特別記者)、同じくエグゼクティブ・プロデューサーの山本ヒロ子が務めます。
- ◆ 本セミナーの受講料(税別)は、お一人30,000円(一般)です。受講のお申し込みは、弊社ホームページからお申し込みください。  
[http://www.fcg-r.co.jp/research/open/index\\_150327.html](http://www.fcg-r.co.jp/research/open/index_150327.html)  
 なお、お電話でのお問い合わせは、情報調査部・セミナー事務局 03-6891-8501にて承ります。
- ◆ エフシージー総合研究所の情報調査部門は、Fujisankei Communications Groupのメディアグループ機能を最大限に生かし、一般企業や各種団体の広報活動を支援するコンサルティングのほか、各種セミナーを随時開催しております。

### 【お問い合わせ】

株式会社エフシージー総合研究所

東京都江東区青海1-1-20 ダイバーシティ東京オフィスタワー6F

☎ 03-6891-8501 FAX 03-6891-8516 広報担当：大島

## 現役記者による実践メディアトレーニング 開催要旨

〔日 時〕 2015年3月27日(金) 10:30~17:00

〔場 所〕 青海フロンティアビル 2F 会議室  
江東区青海 2-4-24 青海フロンティアビル 2F 会議室  
ゆりかもめ「テレコムセンター駅」直結/りんかい線「東京テレポート駅」無料循環バス 約3分

〔参 加 費〕 30,000円(一般)/20,000円(フジサンケイ広報フォーラム会員)  
※参加費は税別、弊社より請求書を発行します。

### プログラム

10:30~11:45	<p>● 「緊急記者会見」についてのレクチャー —実際の不祥事会見映像を見ながら、陥りがちなポイントを解説 【講 師】エフシージー総合研究所 エグゼクティブ・プロデューサー 山本ヒロ子</p>
11:45~12:45	お昼休憩 (青海フロンティアビル 1F、テレコムセンタービル西棟 2F にレストランなどがあります)
13:00~14:00	<p>● 模擬記者会見でのニュースリリースと想定問答集の作成 —チームに分かれて、会見での役割なども確認する ※ 模擬記者会見は、事務局が準備する「状況シナリオ」に基づき行います。 参加者には、別途詳細を事前にお知らせいたします。</p>
14:00~17:00	<p>● メディアトレーニング(模擬記者会見)と記者役講師からの講評 【記者役講師】 産経新聞編集局副編集長 菊池昭光氏 産経新聞編集局社会部長 三笠博志氏 フジテレビジョン解説委員 大林 宏氏 エフシージー総合研究所取締役情報調査部長 大倉明(元産経新聞特別記者)</p>

### 講師プロフィール

山本ヒロ子(やまもと・ひろこ) エフシージー総合研究所 エグゼクティブ・プロデューサー  
1973年早稲田大学卒、産経新聞メディアックス入社。企業広報担当者向けの勉強会「パブリシティ研究会」を立ち上げる。91年エフシージー総合研究所に移籍。情報調査部長を経て、2012年から現職。企業や大学、病院の広報パーソンに対する広報コンサルティングを行っている。経営情報学修士(MBA)。

菊池昭光(きくち・あきみつ)氏 産経新聞編集局副編集長  
1989年慶應義塾大学文学部卒、産経新聞社入社。社会部(警視庁捜査1・3課、同サブキャップ、国会、厚生省、遊軍)などを担当。2003年7月夕刊フジ報道部次長。08年12月から産経新聞社にもどり、社会部次長、文化部次長、山形支局長を歴任。東日本大震災以降、東北総局(仙台)で現場取材班総括。東北総局次長、社会部次長を経て、14年10月から現職。

三笠博志(みかさ・ひろし)氏 産経新聞編集局社会部長兼科学部長  
1990年産経新聞入社。大阪社会部、東京社会部で事件取材などを担当した後、秘書室などを経て、2010年に産経デジタル企画部長。2012年メディア部長として、MSN産経ニュース、イザ、サンスポコム、Sankei Biz、ZAKZAKの5つのサイトの運営や新サービス構築などで責任者を務めた。編集局副編集長を経て2014年8月から現職。

大林宏(おおばやし・ひろし)氏 フジテレビジョン報道局解説委員兼危機管理総務  
慶應義塾大学法学部卒業。1966年フジテレビにアナウンサーとして入社。80年報道局で警視庁担当、83年『FNNニュースレポート 6:30』キャスターを経て、ニュース番組の編集長、社会部長、報道局専任局長を歴任。99年『FNNスーパーニュース』の初代ニュース解説者。2000年『FNNニュース JAPAN』キャスター。現在、上武大学客員教授も務める。

大倉明(おおくら・あきら) エフシージー総合研究所 取締役情報調査部長  
1974年慶應義塾大学経済学部卒業、産経新聞社入社。横浜総局、整理部、社会部(都庁、警視庁など担当)、経済部(経産、財務省など担当)、文化部(生活、メディアなど担当)、夕刊フジ報道部などを経て、社会部次長、文化部次長、文化部長、編集局次長、総合企画室長、執行役員夕刊フジ代表、特別記者を歴任。著書に「舟木一夫の青春賛歌」(産経新聞出版)。2013年6月から現職。